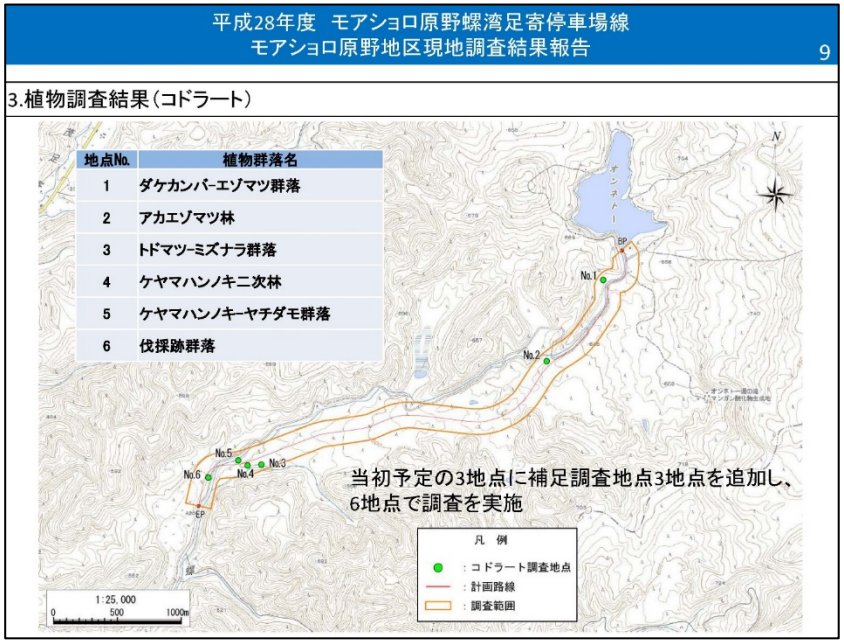
2-7　植物コドラート調査、5m×25mではこの森林を捉えるには規模が小さい。10m×10mのコドラート5つを3箇所くらい取って再調査をしていただきたい。

＜平成28年度コドラート調査（計画路線周辺の植生把握）：20m×20m区画6箇所＞

計画路線周辺に分布する6つの代表的な植物群落において、維管束植物を対象としたコドラート調査を実施。コドラートの大きさは、アカエゾマツ林を含む木本群落で「森林植生で一般的な10m×10m～20m×20mの調査区面積」のうち、最大の20m×20mに設定して実施。

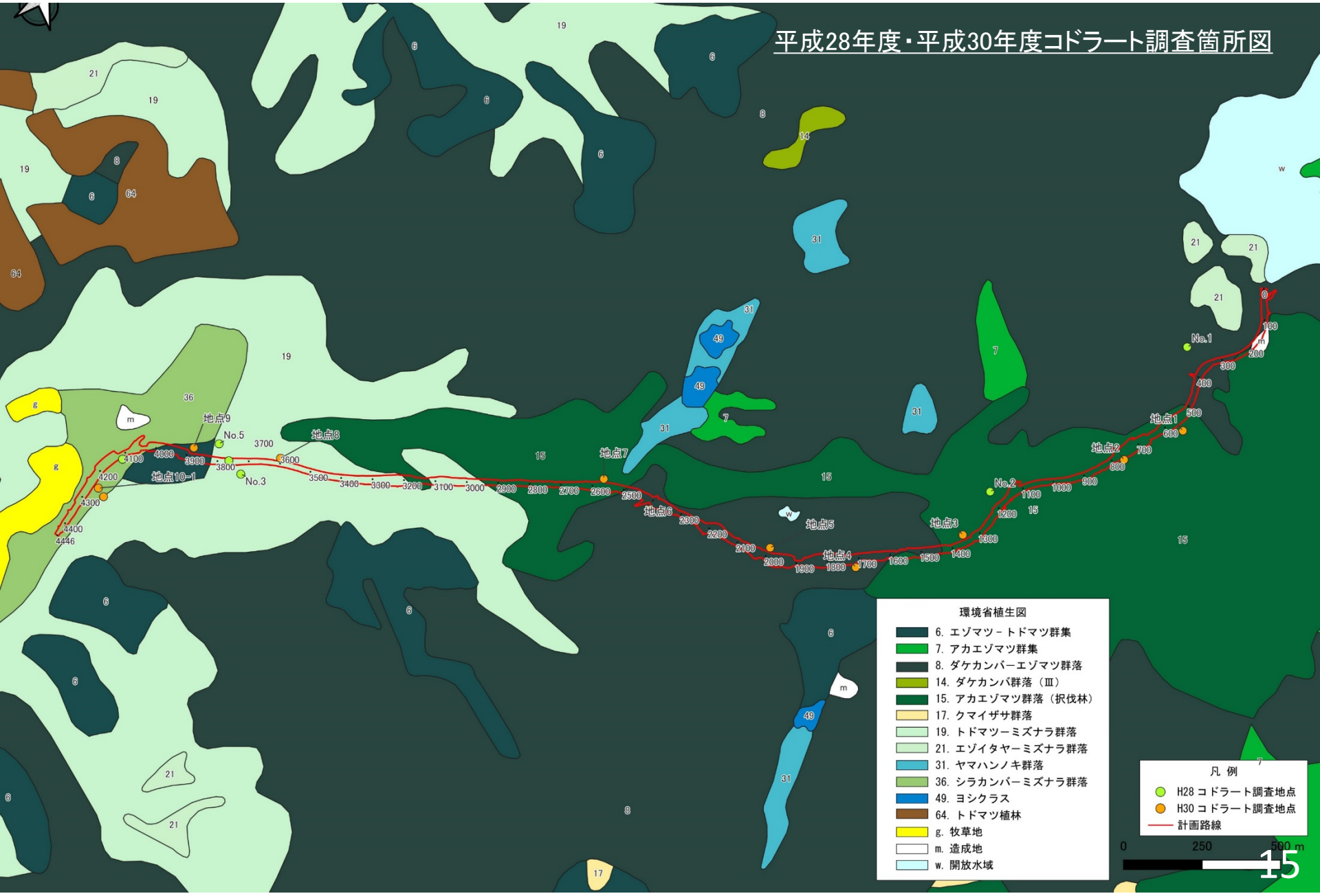


＜平成30年度コドラート調査（工事後モニタリング）：5m×25m区画10箇所＞

工事後モニタリングに向けて実施。工事後モニタリングでは改変箇所近接部からの植生変化の有無を横断的に確認することに主眼を置き、コドラート形状を計画路線に直角となる5m×25mの帯状とし、その内部を更に5m×5mに分割して記録。
なお、帯状区による調査は、「道内の特にすぐれた自然の地域における動植物等の実態についての総合調査」でも用いられており、知床半島での調査では典型的森林群落の把握を主な目的としたときに帯状区の大きさをおおむね5m×20mとしている。

・事業箇所の森林環境の現況は、
これまで事業で実施してきた植物調査により把握できているため、現段階で再調査の予定はない。

令和6年度　モアショロ原野螺湾足寄停車場線
モアショロ原野地区の環境影響に関する 第2回ワークショップ



植生調査（コドラート調査）参考文献

・森林コドラート調査における方形区は通常、
１０ｍ×１０ｍ～２０ｍ×２０ｍとされている。

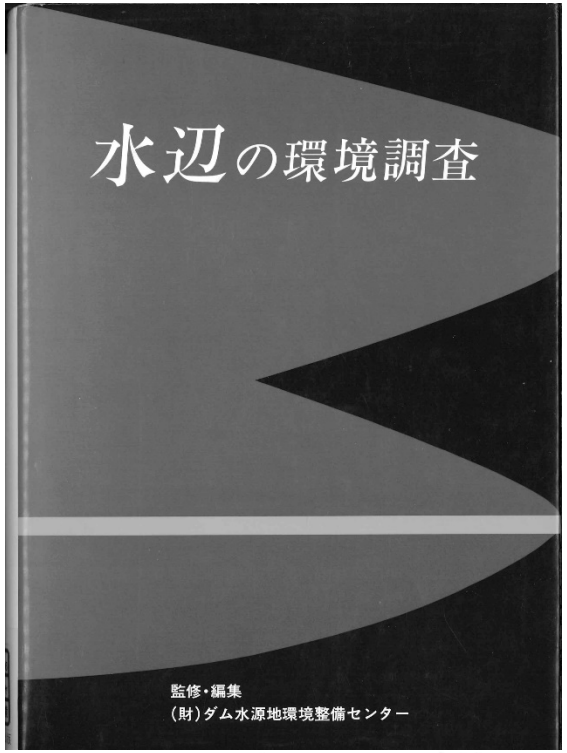


表-4.31　調査区の面積一覧（文献57）を一部改変）

植生タイプ	面　　積
森　林	10m×10m～20m×20m
低木林	5m× 5m ～10m×10m
草原　ススキ草原	5m× 5m
水田・畑の雑草群落	1m× 1m～ 2m× 2m
路上・路傍雑草群落	1m× 1m～ 2m× 2m

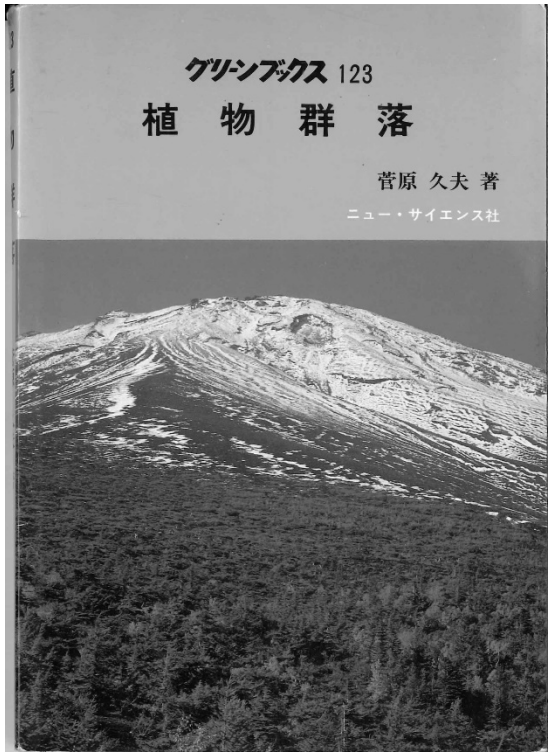


表１　調査区の面積一覧

森林		10m×10m～20m×20m
低木林		5m×5m～10m×10m
草原	ススキ草原	5m×5m
	シバ草原	2m×2m
	水田・畑の雑草群落	1m×1m～2m×2m
高原	砂浜群落	5m×5m～10m×10m
	火山高原群落	10m×10m～20m×20m
	オオバコ群落	1m×1m～2m×2m